

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 24 年 5 月 14 日

事業所名 キッズいちえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		個人に合わせて調整を行っております。	
	2	職員の配置数は適切である	6		資格をもった職員を適切な人員で配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		大きな段差や階段はないが、バリアフリーでないところがあります。必要に応じて個別の対応を行います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		スタッフ全員で話をする機会を設けています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		HPIに評価表の結果を公開し、サービスの向上に努めています。また、事業所内にも掲示しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		計画的に実施出来るように検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		毎月1回の法人内研修に加え、外部での研修会に参加しています	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		保護者からの聞き取りと観察評価にてアセスメントを行い、支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		標準化されたS-M社会生活能力検査とVineland-II適応行動尺度を使用しています	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		スタッフ内で相談しながら行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		課題内容等は四季のイベントに合わせて考えています。また長期休暇に応じたイベントを開催し、多くの方に参加していただいています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		個別療育と小集団療育を行っています。お子様の状況に応じた支援を心がけています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		必要な確認、打ち合わせを行っております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		スタッフ間で話合う機会を持ち、担当スタッフ以外の意見も反映させながら療育に取り組んでいます	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		規定に基づきモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		予定の調整をし、児童発達支援管理責任者と担当訓練士が参画できるようにしています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	送迎は行っていないが、必要に応じて学校との情報共有を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				対象児童なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		保護者からの要望があればカンファレンスへの参加や児童所見等の提供を行っております	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		保護者からの要望があればカンファレンスへの参加や児童所見等の提供を行っております	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		保護視野からのニーズがない為、機会をもっていません。必要に応じて対応します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		療育を同室で見させていただきながら、その都度発達状況や課題についてお話させて頂いております。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6		保護者交流会の際に研修会を開催し、保護者の方に対する支援プログラムを行っています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		保護者会を開催し、保護者同士の交流の機会をもっている	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		苦情対応のマニュアルを作成し、迅速に対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		季節ごとに会報を発行しており、必要に応じてHPなどで発信している。また、InstagramやSNSを活用している	
	35	個人情報に十分注意している	6			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		現在は行っていませんが、必要に応じて対応します

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		契約の際にお伝えし、閲覧できるようにしています	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		年に2回、定期的に行っています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		年に1回、研修会を開催し、参加しています	
	41	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底している	6			
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		必要な場合は保護者の方に十分に説明をしたうえで対応します。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	6		食事の提供を行っていない。支援の中で食べ物を使う場合は持参してもらっています
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		事例集を作成し、毎月全員で共有している	